

【井原ゆたか市政レポート】

(発行)井原ゆたか事務所 さいたま市中央区下落合1071-1 MIビル4 3F

vol.6

【活動報告】

- ①
12月定例会 一般質問
- ②
平成30年度予算議案
に対する質問
- ③
中央区内のご要望
への対応

中央区の問題から、
次世代を見据えたまちづくりまで
幅広く行政へ提言をしております！

自民党真政 さいたま市議会議員

井原ゆたか

「次世代のまちへの挑戦」

【ご挨拶】

市議会議員に着任しまして、3年が経とうとしております。任期も残り1年となりました。この3年間で、**与野中央公園や本町通りの整備計画**など、今まで中央区で凍りついていた大きな事業を動かすことが出来たと思いますし、地元の様々な問題にも積極的に取り組んでまいりました。また昨年12月の一般質問では**公共施設マネジメントの見直し**など、さいたま市として大局的な方針についても言及致しました。

中央区の人口は1月で10万人を超え、**さいたま市全体の人口もまもなく130万人に到達する見込み**であり、少子高齢化が進むこの時代に今もお成長を続けているのが、我々の住むさいたま市です。一方で、東京近郊の街としての課題も多々あり、全国的に他の自治体も地方創生に取り組んでいる中で「さいたま市」に住んでいるみなさまが、この街に住んでよかった、住み続けたいと思えるように、次世代を見据えたまちづくりを今後も進めてまいります。

12月定例会にて一般質問

① 公共施設マネジメントの見直し

本計画は、将来的な人口減少や厳しい財政状況に対応するために、公共施設の新規整備の抑制や施設総量の15%縮減などの目標を定めたものでした。しかし、5年経った今でも新規施設の建設もあって総量はむしろ増加しており、計画と実態が全く異なっています。

私は施設総量ではなく、**歳出削減と歳入増加という財政的な指標**を設置した上で、本計画を抜本的に見直し、市民ニーズを満たしたうえで、民間と共に**稼げる公共施設を作っていく** **公民連携事業**をさいたま市でも採用することを提案しました(すでに他の自治体には多数の先行事例があります)。

私の提案を受けて、平成30年度からの公共施設マネジメント計画は以下になります。

1. 新規整備は原則として総量規制の範囲内で行う。
(本市の成長・発展に寄与する施設は規制の対象外)
2. 施設整備・改修には公民連携手法を積極的に導入する。
3. 施設の更新は複合化を検討するなど、施設総量を60年間で15%程度縮減する。

与野本町小学校に、
① 子育て支援センター
② 放課後児童クラブ
③ 郷土文化資料室
を複合化する計画。
(H32年に供用開始予定)



総量規制の撤廃まではかなわなかったものの、本計画のもとで**公民連携の導入を軸とした次世代の公共施設**へとさいたま市の施設も生まれ変わることを期待します。

② 定員割れだった第3回さいたま国際マラソン

私は昨年の当初予算審議の時から、大会の抜本的な改善につながる提案をしておりましたが、結局第2回大会とほぼ変わることなく、高いエントリー料、厳しいコース、料金に見合わないランナーサービスのままで大会が開催されました。その結果、他の都市型の大きなマラソン大会は軒並み人気が高い大会である中で、第3回さいたま国際マラソンはエントリー人数が定員の16,000人にも達しませんでした。私は、市の税金から**2億6千万円という破格な高額負担**をしているものの、**定員割れという恥ずかしい大会**になっている責任の所在を追求しました。

マラソン大会の開催は、市の負担金だけでなく、交通の面でも市民の皆様にご迷惑をかけるものです。それでも継続的に開催するのであれば、皆様から応援される大会に、そして自信を持って周囲に宣伝できる大会でなければなりません。



今年の別府大分毎日マラソンに出場し、3時間16分30秒で自己ベストを更新しました。市民ランナーとして、日々地元でラニングもしています。

私自身、様々な大会に出場していますので、その目線から**エントリー料の適正化**や全国各地から来るランナーが**走って楽しめるコースへの変更**を市長へ提案しました。

3 JR埼京線の増発の提案

埼京線は約30年前に運行開始され、沿線のまちづくりは飛躍的に進んだものの、運行本数は未だに少なく、混雑に悩まされている状態です。**市内各駅で埼京線の利用客数は200%超、武蔵浦和駅では350%**に伸びているのに対し、**運行本数は当初から135%程度の増**でしかありません。まちづくりが進んでも、他の地域に比べて鉄道だけがローカルな状態では、住みやすい街になりません。

JR埼京線(上野)の運行本数の増発

| 種別 | 上野 | 浦和 | 武蔵浦和 | 池袋 | 有楽町線 | 有線 | 有線 | 有線 | 有線 |
|------|----|----|------|----|------|----|----|----|----|
| 平日 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 土曜 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 日曜 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 年末年始 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |

※上記は概算値です。詳細はJR東日本ホームページをご覧ください。

朝の通勤ピークでも与野町駅などでは運行本数は一桁しかない。私自身、中学生の時から20年余り埼京線で都内へ通っていました。

埼京線の本数増加や終電の延長、各停からの乗り継ぎの向上など、細かな要望をさいたま市からJRに提出するよう求めました。

平成30年度予算議案に対する質問

平成30年度予算は過去最大規模の予算(総額9930億円)であり、市税の増加に伴う積極的な投資と言われておりますが、私の目線から大局的に以下の点について質問しました。

Q. H29年度当初予算では土木費を約800億円計上したが、109億円もの減額補正となった理由は?

- A. 1) 再開発等の進捗が予定通りに進まなかった。
2) 国からの補助金を得ることが出来なかった。

大宮駅周辺地区の再開発を進め、東日本の中枢都市へという宣言がある中で、実情はまだこのような形であり、不安が募ります。**スケジュール感を把握すると共に、国との連携も強化**していくことを提案しました。今後のさいたま市のまちづくりを進めるには、国や県からの補助金が必要不可欠であり、市長のトップセールスが問われます。

Q. 市税の増加は、県からの教職員費用の市への移行分を除くと、実質いくらか?

A. 約18億円で、前年度比0.8%の増加。

Q. 市の歳入増加を図る取り組みは、具体的にどのような予算に盛り込まれているのか?

A. 歳出として民生費(主に扶助費)が年々伸びているが、歳入増加に直接つながる具体的な事業例はない。

「積極的な投資」の背景に「歳入の増加」にどうつなげるか?というビジョンがないと、「投資」ではなく「浪費」になってしまうことを指摘しました。社会福祉を保つためには、まちとしての歳入をあげて財源を確保することが重要で、そのための予算を策定すべきです。



H29年度に埼玉県の教職員給与負担分がさいたま市に移行され、歳入は増額しているように見えるが、実質的には微増であり、年々の歳出の増加分が大きい。

中央区内のご要望への対応

① 上落合北公園のトイレ改修工事

地元の方からご要望をいただきまして、上落合北公園のトイレ改修工事予算を平成30年度に確保することが出来ました。多くの子供たちがいる上落合地域ですし、よりみなさまから愛される公園となることを期待します。



上落合に位置する多目的広場の公園では、トイレの老朽化が激しいので改修することが望ましい。

② 旧与野市と旧大宮市の市境道路の整備に着手

中央区円阿弥五丁目と大宮区三橋四丁目の境目にある道路です。旧市時代から約40年も未整備となっていました。昨年測量を行うことが出来ました。今年より住民の方々との協議を行い、幅員4mを超える部分に関しては順次整備に入る予定です。



40年来、未着手であった道路。昨年測量を行い、今年度より整備計画を作る予定。

③ 鈴谷交差点拡張の事業化

比較的交通網は行き届いている中央区ですが、ボトルネック交差点としてあがっていたのが本町通りと国道463号線がクロスする鈴谷交差点であり、特に交通量の多い朝夕の時間帯は渋滞が慢性化していました。本町通り側に右折レーンを拡張することで、右折待ちによる渋滞を回避できるようになります。

(H27年度まちづくり委員会で提案していた案件)



渋滞の原因となっている右折レーンのない交差点の局所的整備を進めている。

井原ゆたか プロフィール

◎昭和58年1月13日さいたま市生まれ(35歳)

淑徳与野幼稚園 卒園
与野本町小学校 卒業
麻布中学校・高等学校 卒業
東京大学理学部天文学科 卒業

東京大学大学院理学系研究科博士課程修了
平成22年 東芝ソリューション株式会社 入社
平成25年 トヨタ自動車株式会社 入社(出向)
平成27年 さいたま市議会議員 当選



井原ゆたか事務所

〒338-0002

さいたま市中央区下落合1071-1 MIビル4 3F

TEL:050-3418-7058 FAX:050-3588-4018

Email:contact@yutakaihara.jp



井原ゆたか
公式HP

<http://www.yutakaihara.jp/>